八街駅周辺

第1自転車

車

八街

郵便局

場

第2自転車駐車場

第3自転車駐車場

商工会議所

※第2、3、4自転車駐車場は

利用登録が必要ありません

自転車整理区域

草

ത

市営中央グラウンド

28 年 利分 の 請録 の制 転 受 車 付 駐 車 開 0 ま व

必

間

内

13

平

成

車は場 お八 つ登第前 し受31年場こて録5第 ま付日4ののい制自1 月平有まの転自 °11利1成料す自車転 。転駐車 車車駐 駐場車

金 申 成 分 自 用登か請29 転市場 登録らの年平車でと有よ街 録を開一3成駐はな料び駅 申希始次月28車 れすを る 月用日28登 確 方 13登 年録 認は

日録平度制 ○ 通役13 し上 く課項利申路所日利で 付だへを用請に受金用く 期さ郵明登方置付か登だず 間い送記録法き・ら録さ受 まの申 まJ都申い付 。期 すR市請 た上請 。八整書 は 書 持都に 街備は

申 自・11 由市月 請 午11 前月 8 13 時日 30 \

4市印送け受曜 5 ま日 で では 受市 (金)

け 役 ※

課 ま 4 す

間の 1

整有のま付・は土 で日午曜 °午曜後 後日5日午分12 `時曜後 **分**月 時祝ま 日 5 4 時 日

駅課

☎都消郵付所土 備効場す ど合 なは り 12 月 日

市必

整要

て備事

4 3 2

てとさ心をのたし

3 つ消離ガ用もス寝つ7住いを 離は、は、 れ ただな

国道409

とんろ はな 必の ずそ 火ば を を

市役所

銀行-

けやきの森公園

八街

中学校

第4駐車場

(原付専用)

GS

第5自転車駐車場

すのく防統 心標 に語 火

災

が

秋

季

全

玉

火災

運

動

施され

ま

व

ま で

祝15

日 分

せと防普りやこか無国 す止及 しを火い運れ備 と産死 図災時動んな防 しの者高り予季は**ぼ** て損の齢、防を、 毎失発者火思迎火 年を生な災想え災 どののるが 実防を で減を発こ少中生 一に発 施 少中生層あ生

インい トの 5 を 守る

のすれスすのトたの**つ宅**ま目、す 対 。るこるかーば習**の防**す的財る 策 とん 。らブニ慣ポ火 。と産死 P 置や ですめ 使りる。

設れれ早

す住逃 用遅 火れ 災を 警報 をめ 設に、

るく住さ住所なおどた火にメルセカモの人名をめ災、 ン寝 火にす 器消る

は物用重で

が扱ン燃対す

必いな料策る

要にどとが屋

細のす要は火がとす

心貯るで防気あ被る

の蔵ガあ火をり害行

注・ソり安使まが事

意取り、全用す甚で

器 つにの 一不 はく 設る 隣 自 。近由

7 いも火宅れ宅の人年をめ災 まなの災用で用協を寄設にを防ら いで発火い火力守り置 う合 はま知報か報をめ体 速だら器 や設せは てくち か置 にさ

りさ取 など多いに 十な 分ど で 注の 意火

数 0 観 客

れる加

。大火

と災

なが

か具 小炎の衣 ょ場す生災**ま災**体るやす住さ品火類う合。を警**す警**制た身る宅いを災お 。用う使をよ 消ち用防び ぐカ なす

間がよる機での地防 でつのし極日 る元 佐義び場、こ多域組佐すい危てめな特お生が へって のより でいる でで で にそす参 で で で で で で で れる加

☆防佐義び場 4組倉務露合スん数の合倉 8 合市化店はトろのイ火市 1 消八さな、1、者べ災八 防街れど消ブ調がン予街 1本市ての火な理集ト防市 2 部酒い開器ど器合 `条酒 1予々ま設のを具す祭例々 7 防井すの準使 `るりで井 課町。届備用発催なは町 出おす電しど、消

ルデ イ ツ • 才 わ かい **B**J 街 を 歩

物

各

自

管

理

してくだ

者

イお財 ィな慣 財岡 ッ話や八ッ効病シ探田 を景街ク果・エ訪 約6・根古谷 ・・介ィ ・ 聞観の きに歴ウ効護 ア つ史ォ能予 ァッ**5** プ**km** ーがいに 1が防 らて触クあの 学れ るほ ノか生 いル員文 ル様活 ス デ々 てデの化 習

時み だをッ袋歩 ・ス年11ま き根ポ前月せ おク い持サ帽や古1922ん 子す谷ツ時日か iv, · プ (日) 方な飲服用ラ約※ はどみ装草ザ3雨 物・間か時天 、靴 ら間中 持ポ 1 IJ 岡 止

ルユ手 田 申 定 対 さ ※ 問費メ ☎ス無11たス60市い荷 4ポ料月はポ人内 14 窓 丨 〔 在 日口ツ先住 出で振着・ 申興順在 し課) 勤 込に • 在 み電 学 話

ま

4 1 3 ツ 振 1 興 課

4 6 5

ウ

歩

13

合

わ

せ